

IX 付 録

1 組合設立までのあらまし

| 年 | 月 | 概 | 要 |
|-------|-----|---|---|
| 昭和43年 | 7月 | 一部事務組合による常備消防設置について、加治木町から提案されたが、時期尚早で立ち消えとなる | |
| 昭和45年 | 5月 | 交通事故の増加により、加治木町、始良町、蒲生町及び溝辺町の町長間で常備消防設置について検討が始まる | |
| 昭和45年 | 10月 | 常備消防設置に関する正式協議が開催される | |
| 昭和45年 | 11月 | 常備消防設置準備会議が開催される | |
| 昭和45年 | 12月 | 組合設立委員会発足 | |
| 昭和46年 | 1月 | 組合設立委員会において組合設立についての原案作成が完了する | |
| 昭和46年 | 3月 | 蒲生町議会可決を最後に4町とも可決し、組合設立が正式に決定し、組合設立許可申請を鹿児島県に提出 | |
| 昭和46年 | 4月 | 組合設立について鹿児島県知事の許可を受ける | |

2 消防本部・署の沿革（始良郡西部消防組合消防本部）

| 年 | 月 | 日 | 概 | 要 |
|-------|-----|-----|--|---|
| 昭和46年 | 4月 | 1日 | 初代管理者兼初代消防長に曾木隆輝加治木町長就任 消防吏員5人採用 | |
| 昭和46年 | 5月 | 1日 | 加治木町役場に消防本部を置き消防吏員1人加治木町から出向 | |
| 昭和46年 | 8月 | 18日 | 日本消防協会から救急自動車の寄贈を受ける | |
| 昭和46年 | 10月 | 1日 | 事務吏員1人始良町から出向、消防吏員32人採用 | |
| 昭和47年 | 2月 | 29日 | 消防無線基地局1、移動局3を設置 | |
| 昭和47年 | 3月 | 23日 | ジープ型消防ポンプ自動車3台を購入 | |
| 昭和47年 | 4月 | 1日 | 消防本部、消防署設置の政令指定を受ける 第2代消防長に下猶篤男就任 仮設の本部、署1、分遣所2、消防ポンプ車3台、救急車1台にて 消防業務の実働を始める 消防吏員8人採用、1人加治木町から出向 | |
| 昭和47年 | 4月 | 18日 | 指令車購入（救急車の兼用可） | |
| 昭和47年 | 5月 | 31日 | 蒲生分遣所庁舎完成 | |
| 昭和47年 | 6月 | 20日 | 加治木町大英建設から救急車（トヨタハイエース）1台の寄贈を受ける | |
| 昭和47年 | 7月 | 12日 | 消防無線移動局3局増設 | |
| 昭和47年 | 8月 | 10日 | 消防本部・消防署庁舎落成 | |
| 昭和47年 | 9月 | 15日 | 溝辺分遣所庁舎落成 | |
| 昭和47年 | 12月 | 18日 | 水槽付消防ポンプ車（いすゞ・ガソリン車）1台購入し本署に配置 事務吏員女子1人採用 | |

| | |
|-------------|---------------------------------------|
| 昭和48年 2月 1日 | 生命保険協会から救急車1台寄贈を受ける |
| 昭和48年 3月 9日 | 消防吏員8人採用 |
| 昭和48年 4月 1日 | 消防無線移動局（携帯用）3局購入 |
| 昭和48年 6月25日 | 日本道路公団から救急車（消防無線付）2台寄贈を受ける |
| 昭和48年12月18日 | 消防無線移動局2局購入 |
| 昭和48年12月26日 | 水槽付消防ポンプ車1台購入し本署に配置する |
| 昭和49年 3月19日 | 消防無線基地局（蒲生・溝辺分遣所）2局増設 |
| 昭和49年 9月 2日 | 消防無線移動局（携帯用）4局購入 |
| 昭和49年11月10日 | 初代管理者曾木隆輝加治木町長退任 |
| 昭和49年12月 9日 | 第2代管理者に東國男加治木町長就任 |
| 昭和49年12月11日 | 第2代消防長下猶篤男退任 |
| 昭和49年12月31日 | 第3代消防長に坂元満男消防長就任 |
| 昭和50年 1月 1日 | 日本消防協会から広報車1台寄贈を受ける |
| 昭和52年 7月 5日 | 第3代消防長坂元満男退任 |
| 昭和53年 3月31日 | 第4代消防長に右田光男就任 |
| 昭和53年 4月 1日 | 消防吏員10人採用 |
| 昭和53年10月 1日 | 消防吏員9人採用 溝辺分遣所救急業務開始（救急車1台、隊員6人配置） |
| 昭和54年 4月16日 | 会計事務職員1人採用 |
| 昭和55年 3月 1日 | 小型ポンプ付積載車1台購入し本署に配置する |
| 昭和55年 3月31日 | 消防無線移動局・携帯局各1台購入 |
| 昭和55年11月26日 | スーパータイヨーから救急車1台の寄贈を受け本署に配置する |
| 昭和56年 3月20日 | 小型ポンプ付積載車1台購入し蒲生分遣所に配置する |
| 昭和56年 6月 9日 | 救助用訓練塔（7m）本署に設置 |
| 昭和56年 7月 9日 | 消防無線携帯局1局購入し蒲生分遣所に配備する |
| 昭和56年12月28日 | 小型ポンプ付積載車1台購入し溝辺分遣所に配置する |
| 昭和57年10月 1日 | 蒲生分遣所救急業務開始（救急車1台、隊員6人配置） |
| 昭和57年12月 3日 | 消防無線移動局2局増設し消防本部及び本署に配備する |
| 昭和57年12月 6日 | 日本自動車工業会から救急車1台の寄贈を受け本署に配置する |
| 昭和58年 1月25日 | 水槽付消防ポンプ車1台購入し蒲生分遣所に配置する |
| 昭和58年 7月31日 | 第4代消防長右田光男退任 |
| 昭和58年 8月 1日 | 第5代消防長に村岡創造就任 |
| 昭和58年11月29日 | スーパータイヨーから救急車1台の寄贈を受け本署に配置する |
| 昭和58年12月27日 | 水槽付消防ポンプ車1台購入し溝辺分遣所に配置する |
| 昭和59年 2月20日 | 消防無線携帯局3局増設し本署及び蒲生分遣所に配備する |
| 昭和59年12月 6日 | 徳重ガラス店から救急車1台の寄贈を受け蒲生分遣所に配置する |
| 昭和60年 2月26日 | 竹下喜久子氏から救急車1台の寄贈を受け本署に配置する |
| 昭和60年 3月 1日 | 救助用訓練塔溝辺分遣所に設置 |
| 昭和60年 3月18日 | 救助工作車1台を購入し本署に配置する |

| | | |
|-------|--------|---|
| 昭和60年 | 3月30日 | 消防無線携帯局2局増設し本署に配備する |
| 昭和60年 | 5月20日 | 鹿児島県安全運転管理協議会より優良事業所表彰を受ける |
| 昭和61年 | 4月28日 | 山下為美氏から救急車1台の寄贈を受け本署に配置する |
| 昭和61年 | 6月1日 | 消防吏員1人採用(中途退職補充) |
| 昭和61年 | 7月18日 | 始良郡西部地区危険物安全協会設立 |
| 昭和61年 | 12月9日 | 第2代管理者東國男加治木町長退任 |
| 昭和61年 | 12月15日 | 第3代管理者に西野繁始良町長就任 |
| 昭和61年 | 12月31日 | 第5代消防長村岡創造退任(始良町へ転出) |
| 昭和62年 | 1月1日 | 第6代消防長に木場政昭就任 |
| 昭和62年 | 3月31日 | 第6代消防長木場政昭退任 消防無線携帯局2局増設し蒲生分遣所及び溝辺分遣所に配備する |
| 昭和62年 | 4月1日 | 第7代消防長に迫屋清治就任 消防吏員2人採用(退職補充) |
| 昭和63年 | 3月8日 | 水槽付消防ポンプ車1台購入し本署に配置する 消防無線固定局1局・基地局1局予備を増設し本署に配備する |
| 昭和63年 | 3月28日 | 消防無線携帯局2局更新し本署及び溝辺分遣所に配備する |
| 昭和63年 | 7月20日 | 始良郡西部地区防火管理者等協議会設立 |
| 平成元年 | 3月23日 | 消防ポンプ車1台購入し本署に配置する 蒲生分遣所救助用訓練塔及び消防用ホース乾燥塔完成(更新) |
| 平成元年 | 3月31日 | 消防無線移動局2局(10w)更新し蒲生分遣所及び溝辺分遣所の小型ポンプ付積載車に配備する |
| 平成元年 | 4月1日 | 消防吏員1人採用(退職補充) |
| 平成2年 | 2月1日 | 川田スミ氏からレスキューツール(救助資機材)1式寄贈を受け救助工作車に配備する |
| 平成2年 | 3月7日 | 小型ポンプ付積載車1台を購入し本署に配置する |
| 平成2年 | 3月31日 | 第7代消防長迫屋清治退任 |
| 平成2年 | 4月1日 | 第8代消防長に雨乞信就任 消防吏員1人採用(退職補充) |
| 平成3年 | 1月22日 | 第3代管理者西野繁始良町長退任 |
| 平成3年 | 1月31日 | 第4代管理者に櫛山和實始良町長就任 |
| 平成3年 | 4月1日 | 消防無線移動局2局更新し蒲生分遣所及び溝辺分遣所の水槽付消防ポンプ車に配備する |
| 平成3年 | 5月1日 | 本署救助用訓練塔(更新)完成 |
| 平成3年 | 11月13日 | 始良郡西部消防組合創立20周年記念式典 |
| 平成4年 | 1月10日 | 小型ポンプ付積載車1台を更新し溝辺分遣所に配備する |
| 平成4年 | 3月30日 | 溝辺分遣所消防用ホース乾燥塔完成(更新) |
| 平成4年 | 4月1日 | 消防吏員1人採用(退職補充) 鹿児島県消防相互応援協定覚書締結 |
| 平成4年 | 8月28日 | 組合規約第10条関係変更届出 |

| | |
|---------------|--|
| 平成 4年 1月 25日 | 消防職員定数条例改正（職員定数81人） |
| 平成 5年 1月 20日 | 溝辺分遣所救助用訓練塔完成（更新） |
| 平成 5年 2月 3日 | 小型ポンプ付積載車1台を更新し蒲生分遣所に配置する |
| 平成 5年 2月 25日 | 日本自動車工業会から救急車1台の寄贈を受け本署に配置する |
| 平成 5年 4月 1日 | 消防吏員5人採用（退職補充1人、新規採用4人） |
| 平成 5年 5月 26日 | 鹿児島郡吉田町から消防組合加入の要望書が提出される |
| 平成 5年 6月 5日 | 消防無線移動局2局更新し蒲生分遣所及び溝辺分遣所に配備する |
| 平成 5年 8月 23日 | 日本消防協会から指令車1台の寄贈を受け消防本部警防課に配置する |
| 平成 5年 9月 7日 | 消防組合臨時議会（鹿児島郡吉田町の消防組合加入について議決） |
| 平成 5年 10月 18日 | 消防職員定数条例改正（職員定数107人） |
| 平成 5年 10月 25日 | 鹿児島郡吉田町の消防組合加入に関する協議書覚書調印 |
| 平成 6年 3月 1日 | 消防無線移動局2局更新し本署に配備する |
| 平成 6年 3月 18日 | 広報車1台更新し消防本部総務課に配置する |
| 平成 6年 4月 1日 | 鹿児島県知事から消防組合規約変更許可（鹿児島郡吉田町の消防組合加入） 消防吏員24人採用（鹿児島郡吉田町加入による増員20人、条例改正による増員4人） 水槽付消防ポンプ車1台、小型ポンプ付積載車1台、救急車1台、消防無線基地局1局、移動局3局、携帯局4局購入し吉田分遣所に配備する |
| 平成 6年 9月 29日 | 吉田分遣所落成式典 |
| 平成 6年 9月 30日 | 救急車1台を更新し蒲生分遣所に配置する |
| 平成 6年 10月 1日 | 吉田分遣所消防業務開始（消防吏員18人配置） |
| 平成 6年 12月 26日 | 本署消防用ホース乾燥塔完成（更新） |
| 平成 7年 1月 27日 | 第4代管理者櫛山和實始良町長再任 |
| 平成 7年 3月 29日 | 吉田分遣所ロープ渡過施設完成 |
| 平成 7年 4月 1日 | 消防吏員3人採用（退職補充1人、条例改正による増員2人） |
| 平成 7年 6月 22日 | 小型動力ポンプ1台を更新し溝辺分遣所に配置する |
| 平成 7年 7月 17日 | 救急車1台、消防無線移動局1局更新し溝辺分遣所に配置する |
| 平成 7年 8月 8日 | 消防無線携帯局2局更新し本署及び蒲生分遣所に配置する |
| 平成 7年 12月 22日 | 消防無線基地局1局更新し蒲生分遣所に配置する |
| 平成 8年 2月 6日 | 消防無線基地局1局更新し溝辺分遣所に配置する |
| 平成 8年 4月 1日 | 消防吏員2人採用（退職補充2人） |
| 平成 8年 8月 5日 | 消防職員定数条例改正（職員定数118人） |
| 平成 8年 8月 8日 | 消防無線携帯局3局更新し本署2局及び蒲生分遣所1局配置する |
| 平成 8年 11月 25日 | 水槽付消防ポンプ自動車1台を更新し蒲生分遣所に配置する 消防無線基地局1局更新し本署に配置する |
| 平成 9年 3月 31日 | 第8代消防長雨乞信退任 |

| | |
|-------------|---|
| 平成 9年 4月 1日 | 第9代消防長に猶木龍美就任 消防吏員12人採用（退職補充1人、条例改正による増員11人） 消防吏員1人中途退職 |
| 平成 9年11月19日 | 水槽付消防ポンプ自動車1台を更新し溝辺分遣所に配置する |
| 平成10年 3月23日 | 小型ポンプ付積載車1台を購入し始良分遣所に配置する |
| 平成10年 3月27日 | 消防無線携帯局3局更新し本署2局及び溝辺分遣所1局配置する 消防無線設備を始良分遣所に配備する（受信機1台、携帯局2局） |
| 平成10年 4月 1日 | 始良分遣所消防業務開始（消防吏員18人配置） 消防吏員3人採用（退職補充3人） |
| 平成10年10月13日 | 救急車1台を更新し中央消防署に配置する |
| 平成11年 1月22日 | 第4代管理者櫛山和實始良町長退任 |
| 平成11年 1月29日 | 第5代管理者に福元久夫始良町長就任 |
| 平成11年 3月30日 | 日本消防協会から救急車1台寄贈を受け始良分遣所に配置する |
| 平成11年 4月 1日 | 消防緊急通信指令施設運用開始 |
| 平成11年11月15日 | 水槽付消防ポンプ自動車1台を更新し始良分遣所に配置する |
| 平成11年11月16日 | 水槽付消防ポンプ自動車1台を更新し中央消防署に配置する |
| 平成12年 3月31日 | 第9代消防長猶木龍美退任 |
| 平成12年 4月 1日 | 第10代消防長に森田峯一就任 |
| 平成12年10月30日 | 訓練指導車1台を更新し消防本部警防課に配置する |
| 平成13年 2月15日 | 水槽付消防ポンプ自動車1台を更新し中央消防署に配置する |
| 平成13年 2月16日 | 高規格救急車を1台購入し中央消防署に配置する |
| 平成13年 4月 1日 | 救急救命士による高規格救急車運用開始 蒲生分遣所新築移転し消防業務を開始 |
| 平成13年 7月19日 | 救助工作車1台、小型ポンプ付積載車1台を更新し中央消防署に配置する |
| 平成13年 8月16日 | 加治木ライオンズクラブから消防用ホース5本寄贈を受ける |
| 平成14年 4月 1日 | 溝辺分遣所新築移転し消防業務を開始 消防吏員3人採用（退職補充3人） |
| 平成14年11月18日 | 小型ポンプ付積載車1台を更新し溝辺分遣所に配置する |
| 平成14年12月31日 | 消防吏員1人中途退職 |
| 平成15年 4月 1日 | 消防吏員2人採用（退職補充2人） |
| 平成16年 9月30日 | 消防吏員1人中途退職 |
| 平成16年11月 1日 | 鹿児島郡吉田町が消防組合を脱退し鹿児島市と合併（消防吏員10人鹿児島市へ転出） |
| 平成17年 3月25日 | 資機材搬送車1台購入し中央消防署に配置する |
| 平成17年 3月31日 | 第10代消防長森田峯一退任 |
| 平成17年 4月 1日 | 第11代消防長に垂内猛志就任 |
| 平成17年 8月19日 | 集団災害用エアータント購入し中央消防署に配置する |
| 平成17年10月19日 | 消防緊急通信指令施設で携帯電話119番直接受信開始 |

| | |
|-------------|--|
| 平成17年11月 7日 | 始良郡溝辺町が消防組合を脱退し国分市、隼人町、牧園町、霧島町、横川町及び福山町と合併し霧島市となる（消防吏員14人霧島市へ転出） |
| 平成18年 3月 5日 | 第5代管理者福元久夫始良町長急逝 |
| 平成18年 3月17日 | 高規格対応型救急車1台を更新し蒲生分遣所に配置する |
| 平成18年 5月 8日 | 第6代管理者に厚地和幸蒲生町長就任 |
| 平成18年 7月28日 | 査察車1台を更新し消防本部予防課に配置する |
| 平成18年10月24日 | 小型ポンプ付積載車1台を更新し蒲生分遣所に配置する |
| 平成19年 4月 1日 | 消防吏員3人採用（退職補充3人） |
| 平成19年 9月30日 | 消防吏員1人中途退職 |
| 平成19年10月31日 | 第11代消防長垂内猛志退任（始良町へ転出） |
| 平成19年11月 1日 | 第12代消防長に池山史郎就任 |
| 平成19年12月20日 | 指揮車1台更新し中央消防署に配置する |
| 平成20年 4月 1日 | 消防吏員3人採用（退職補充3人） |
| 平成21年 4月 1日 | 消防吏員3人採用（退職補充3人） |
| 平成21年 9月30日 | 第12代消防長池山史郎退任（始良町へ転出） |
| 平成21年10月 1日 | 第13代消防長に宮原千年就任 |
| 平成21年12月31日 | 消防吏員1人中途退職 |
| 平成22年 1月15日 | 高規格救急自動車1台更新し始良分遣所に配置する |
| 平成22年 3月22日 | 始良郡西部消防組合解散（加治木町、始良町及び蒲生町の合併に伴い解散） |